

**【施策評価調査】**

施策名	3-1-3	緑地保全活動の推進		97	施策「3-1.自然環境の保全と創造」を実現するためには、高根沢町が守るべき自然環境とは何か？、またどのようにして高根沢町の自然環境を創造していくべきか？というビジョンを明確にし、ルール化で明確にしたビジョンを実現できる人材の育成で明確にしたビジョンを確実に運用できる仕組み作り...という3点からのアプローチが必要です。 この施策は、の観点から政策を実現させるために設定しました。
	担当部署	住民生活部 環境課	担当 リーダー		
環境変化	緑地保全契約は締結していませんが、元気な森づくり県民税事業による「将来まで守り育てる里山林整備事業」により、宝積寺麓の谷地区の山林を地権者の協力のもとに不要木の除去、下草刈り、歩道整備を行っています。この事業は将来的に11haを整備する予定です。				緑地等の保全の重要性に関する広報活動を充実させるとともに、主に地域固有の田園景観の保持に大きな役割を果たす屋敷林や、生物多様性の維持に大きな役割を果たす東部台地やサギノヤ地区の森林を対象に、土地所有者の協力を得つつ緑地保全契約を締結していきます。さらに土地所有者の協力和住民の支援を得ながら、一定規模以上の緑地保全契約地を身近な自然とのふれあいの場として整備し、活用する手法を検討します。また、水田地帯の水辺環境の適切な保全や復元手法、休耕田の湿地ビオトープ*としての活用などの創造手法を検討します。(「高根沢町地域経営計画2006」からの抜粋)

**指標**

施策の評価指標	基準値	年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
指標：緑地保全契約面積(ha)	平成16年度	計画			1.9ha	2.7ha	2.0ha
	0 ha	実績	0 ha	0 ha	1.9ha		
指標：		計画					
		実績					
指標：		計画					
		実績					
指標：		計画					
		実績					
指標に関する特記事項	実施計画：20年度1.9ha、21年度2.7ha、22年度1.7ha、23年度2.0ha、24年度2.8ha						

施策に係る事業費(傘下事務事業費計)の推移	年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
	当初	0	0	0	0	
	決算	0	0	0	0	

**事務事業事前評価 22年度の組立て**

施策傘下事務事業	事業費	活動指標(アウトプット)	事業の実施によって、施策達成にどう貢献しますか？(アウトカム)		
将来まで守り育てる里山林整備事業費 再掲	H21 現計 2,110,000	計画面積の整備  2ha	荒廃した里山林について間伐や下草刈りを行い、整備後も継続的に管理作業を行い、人が散策出来る様な山林が形成されます。また、作業については、ボランティアを育成することにより、将来的に管理可能な体制づくりを推進します。	今後の方向性 (総合評価)	継続
	H22 計画 2,210,000				
	H21 現計			今後の方向性 (総合評価)	
	H22 計画			今後の方向性 (総合評価)	
	H21 現計			今後の方向性 (総合評価)	
	H22 計画			今後の方向性 (総合評価)	
	H21 現計			今後の方向性 (総合評価)	
	H22 計画			今後の方向性 (総合評価)	

**施策事前評価 22年度の組立て**

自己評価	今後の方向性	後期計画に向けた施策展開のビジョン	H22年度の狙い
	現状水準維持	産業課と連携をとりながら緑地保全面積を拡大していきたいと考えています。	新たに1.7haの協定を締結し、引き続き森林保全に努めていきたいと考えています。
総合評価	後期計画に向けて、全体像をきちんと掴んだ上で、デザインを考え他課が行う関連のある施策、事務事業とつながりのある横断的な施策展開を期待する。		